



Fukushima Chuo

◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990

2025年10月29日(水)

第14回(通算1641回) エフズサンパレス

「会員スピーチ渡部九二五郎会員
/大出 隆秀会員」

会長あいさつ

2025-26年度会長 鈴木 努



こんにちは。毎回の例会でクラブ内の出来事、地区内での出来事をお話しさせていただいていますが、これは、会長方針でお話しさせていただいた「クラブ内の見える化」を大きな目的として考えていますので、ご理解ください。

先週の福島ロータリークラブとの合同お月見例会はいかがだったでしょうか。しばらくぶりの合同例会と聞いております。十分に友好、親睦を深めていただけたでしょうか？その時参加されていた、横浜西ロータリークラブとバナー交換をいたしました。



合同夜間例会当日、夕方4時頃ですが、鍛冶輝雄会員の突然の訃報を聞いて、ただ驚くばかりでした。皆さんもそうだったと思います。昨日、葬儀の席で福島中央ロータリークラブを代表し、弔辞を読ませていただき、最後のお別れをしまいいりました。鍛冶輝雄会員のご冥福をお祈りしましょう。

今日は渡部九二五郎会員と大出隆秀会員のスピーチを予定しています。過去の思い出、これからのクラブへの期待等を話していただければ幸いです。11月は福島愛育園への移動例会と竹林亭でのホームミーティングと2回しかありません。ぜひ出席率70%以上を目指しておりますので、ご協力をお願いいたします。11月5日は、奉仕プロジェクト委員会、クラブ管理委員会、合同の会議を1時30分よりクラブ事務所で開催される予定と聞いております。内容は、年忘れ家族例会の内容についてです。委員会の方よりお願いいたします。



オープン例会
ご招待

皆様、御多忙中、ご招待の事とさせていただきます。この度、本クラブはオープン例会を開催いたします。当日は、本クラブのメンバー、または、本クラブのメンバーでない方でも、ご参加いただけます。当日は、本クラブのメンバー、または、本クラブのメンバーでない方でも、ご参加いただけます。

日時：2025年12月31日(水) 12:30～
場所：エフズサンパレス
(福島市上野原20-1 エフズサンパレス2F)
ご参加を心よりお待ちしております。

12月最初の例会は、会員増強委員会の企画で、オープン例会の予定だそうです。内容が確認でき次第、ご報告申し上げます。

それでは今日もエンジョイロータリーしましょう。以上です。



〈お悔み〉

鍛冶 輝雄 会員が10月22日ご逝去されました
心よりご冥福をお祈りいたします



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22

TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212

E-mail:info@fukushimachuo-rc.com



HP

例会次第

- ◆開会点鐘 鈴木 努会長
- ◆故鍛冶 輝雄会員への黙祷
- ◆ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 坂本 和司会員



- ◆お客様並びに来訪ロータリアンの紹介
・福島南ロータリークラブ
大橋 廣治パストガバナー
- ◆ロータリー財団より襟ピンの贈呈
- ◆第8期RLIパートII 終了証の贈呈
- ◆地区大会表彰
- ◆会長あいさつ 鈴木 努会長
- ◆細則の改正について
- ◆ロータリー用語の解説
山田 稔クラブ研修委員長

- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 菅野 幸一幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ニコニコBOX委員会報告
ニコニコBOX委員会 川瀬 哲雄委員長
 - ・R財団・米山委員会より
R財団・米山委員会 渡邊 英世委員長
 - ・年忘れ家族例会打合せについて
奉仕プロジェクト委員会 丹野 良一委員長
 - ・創立35周年記念誌について
35周年実行委員会 安藤 正道実行委員長



- ◆会員スピーチ
 - ・渡部九二五郎会員
 - ・大出 隆秀会員
- ◆閉会点鐘 鈴木 努会長



◆ロータリー財団より襟ピンの贈呈

・丹野 良一会員 PHF+3 襟ピン

◆第8期RLIパートⅡ終了証の贈呈

・丹野 良一会員 終了証



◆地区大会表彰

- ・ロータリー財団 年次寄付・恒久基金寄付額 第6位
- ・ロータリー財団 会員一人当たり年次寄付額 第2位
- ・ロータリー財団 寄付優秀クラブ 第7位



ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ(第12回)
ロータリー衛星クラブとは何か

山田 稔クラブ研修委員長



本日は、『ロータリー衛星クラブ(Satellite Club)』について、その目的や特徴、本クラブとの関係性を含めてご説明いたします。

ロータリー衛星クラブとは、既存のロータリークラブ(本クラブ)に付属する形で設立されるクラブです。まだ独立クラブとしての条件(例えば会員数20名以上)を満たしていない、あるいは地域や活動スタイルの違いにより柔軟な形でロータリー活動を行いたい人々のために用意された制度です。

【衛星クラブの特徴】

- 本クラブの管理下にあるが、独自に例会を開催可能
- 会員は本クラブの正会員としてRIに登録される
- 会費や例会形式・時間帯などを衛星クラブ独自に設定できる
- 衛星クラブが成長すれば、将来的に独立クラブとしてチャーターが可能

たとえば、平日の昼間に例会が難しい若年層や働く世代を対象に、夜間や週末に活動するスタイルで衛星クラブが組織されるケースも増えています。

【本クラブとの関係】

衛星クラブの会員は、本クラブの会員として正式に認めら

れており、RIからの人頭分担金も本クラブ経由で納付されます。

役員や委員会の構成は衛星クラブ独自に設定可能ですが、最終的な責任は本クラブの理事会が持つこととなります。

【衛星クラブのメリット】

- 柔軟な活動形態で新しい層を取り込める
- 地域や世代ごとのニーズに応じた奉仕が可能
- 本クラブの将来的な発展や人材育成にもつながる

衛星クラブは、ロータリーの多様性と柔軟性を高める現代的な仕組みであり、今後のクラブ戦略においても注目すべき制度です。

以上、ロータリー衛星クラブについてのご説明でした。

本日の出席率

会員数 40名
出席者総数 22名

出席率 55.0%

会 員 ス ピ ー チ



渡部九二五郎会員

みなさんこんにちは。

今日のスピーチの原稿を作成している途中で、鍛冶輝雄会員の訃報を知りました。長年の仲間であったことに感謝し改めてお悔やみ申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。

さて、今年の2月5日に「チャーターメンバー雑感」という題目でスピーチする機会をいただきました。またまた自由スピーチをやるよう鈴木会長からの依頼がありました。私がクラブで最年長になったことに気を使ったの事と思います。

会長から演題は何でもよいから常日頃思っていることについてと言われましたが、題目に指定がないスピーチはとても難しいのでどんな話になるか心配です。

そのうえ、ここ2年程前より第2の変声期を迎え年寄り声になってしまいました。喉・声に支障が出ています。しばらくすると発声に異常があるので、お聞き苦しいと思いますがご了承願います。

さて折角のご指名ですので、この際ロータリー生活・ロータリー人生の総括をしてみたいと考えました。今年の6月末で6歳先輩の、熊坂友好会員が退会されました。私がクラブで最高齢になりました。年齢に見合ったロータリー活動をしているか、自己反省してみても恥ずかしい限りです。

入会13年目の2002-2003年の会長年度以来、お金の奉仕は徐々に少なくなり、クラブでの活躍・貢献も芳しく無く、今になって反省している今日この頃です。福島中央ロータリークラブも35年も過ぎチャーターメンバーも少なくなっていました。寂しく感じています。

さて、私にとってのロータリークラブは、当初はポールハリスと3人の仲間たちと同じように、互いの事業を高めるための手段、あるいは自分の仕事へのプラスの効果など目論見ましたが、これは見当違いであった事で、今思い出して苦笑しています。

会長職をやらせていただいた頃には、国際的な慈善奉仕活動のみならず、地域の奉仕活動にも少し目が覚めたように感じました。

余談になりますが、20年程前に二本松ロータリークラブが主催するIMでは大橋PGから「渡部さんのように熱心にまじめになる人をロタキチと言うんだよ」とお褒めの言葉をいただいたこと今でも覚えています。

ロータリーから教えられたことは「社会に奉仕をするということは」を常々考えることかもしれません。

もう一つ余談になりますが、平成14年頃福島市福祉部から請われて社会福祉法人の高齢者施設の立ち上げに関わりました。決心させたのは福島中央ロータリークラブの面々です。多種多様の職業専門家の集団が控えているとの安心感もあり、分不相応の多額の寄付を頑張り立ち上げました。

ロータリアンと仲間の結束に感謝しています。殊に企画設計に安藤正道会員 資金協力に斎藤高紀会員 業務運営に芳賀裕会員 沢戸宏之会員 桐原正雄元会員には直接関わらせていただきこの場を借りて改めてお礼・感謝を申し上げます。

その施設には職場訪問例会もしていただきました。又、多田司朗初代会長には「ハーモニカ演奏慰問」をしていただきました。この事業はロータリー会員になって、私の一世一代一番の奉仕活動と自負しています。

又、会長年度は、順番とは言え心配が絶えませんでした。何故ならこの時まで、よくぞ会社が生き残っていたと感無量でした。

実は、私はチャーターメンバーに幾分誇りを持って今日まで来ましたが、反面それは零細小規模事業の中で事業が上手くいくかの不安とのバランスでもありました。組織の中で行動することに不慣れな不安、多数の会員から嫌われていないかという不安、会話力・文章力・人前での発表(発言)力の不安、教養不足の不安、こうした不安を抱えながら辛うじて1年が過ぎ、会長の役目が終わったときはほっとしたことを懐かしく思い出しました。

さらに、ついでに本日の卓話を機会としてこれまでの感じていたことの一部をお話しようと思います。

まずは、ロータリークラブに入会して得たことは、会員みんなの前で話すスピーチをする機会に恵まれた事です。話下手の私にとって人生の勉強と思い恥をかき、スピーチを何度もやらせていただきました。

殊に幹事・会長時代 2530地区米山委員会所属時期、地区の行事など大いに勉強になりました。そして数多くのロータリアンの知己を得たことは、何にも代えがたい事と思っています。

クラブ運営では「自分にとっての指導者や先生」あるいは「特に気の合う楽しい仲間」のロータリアンができました。彼らとのお付き合いは一層濃いものとなり、成長の糧にもなり今となっては楽しい思い出になっています。

福島中央RC会員名簿の1号から今日まで全部を大事に保管しています。時折パラパラと頁をめくってこれまでの歴史を辿っていますが、ただ懐かしいだけでなく会員の人生を、様々な生き方を感じ取ることができます。



「ロータリーの友」を読むことは地区外のロータリークラブをメイクアップするような気がします。私もこれまでの期間に2530地区以外のクラブを訪問するいわゆるメイクアップ（メーキャップ）を楽しみました。今思い出してみると、米沢RC・米沢中央RC・東京品川RC・諏訪大社RC・高崎東RC・六本木RCなどです。

会員の皆さんには是非機会を作られて地区外のロータリークラブを訪問することをお勧めします。地区外メーキャップの多い芳賀裕PGには、このことについて近々お話いただければと思います。

次に私個人の近況報告を致します。

仕事に関しては、5年前の令和2年3月31日をもって株式会社を閉じました。会社からの引継ぎ残務もあり翌日の4月1日に個人事業として住所、電話、メールなど同じくして個人事業「日本ブライト」として再出発をしました。75歳になっていました。

ここに至って漸く暇になってきました。会員の皆様には是非遊びにお立ち寄り願えればと思っております。

会社を閉じるにあたり、社会一般で言われるように「後継者の問題」「M&A」や「会社清算」の問題でなどありましたが、一方でロータリー活動を楽しみながらの余生も大事と考え今の形になりました。

大きく支えて頂いた大出会員に感謝です。

順不同になりますが2530地区委員会に所属して米山奨学会委員会は約5年にわたり委員をさせていただき、大いに奉仕の真髄を学んだように感じたものでした。まだまだたくさんの委員会仲間から学ぶことが多くあり、その委員会を退任する時は少し残念な気もいたしました。委員会活動の楽しさを地区全会員に分かつため5年以上いるのは申し訳なく後進にお任せしました。

最後に、個人的な事をお話します。

子供は娘一人で嫁に出て20年になります。孫は女孫一人で今年大学生になりました。仕事と生活の都合上もう戻ることではないでしょう。

健康の事

2018年に白内障の手術

2019年に肺ガンの手術

その後立て続けに

心筋梗塞・肝臓瘍・コロナ罹患・肺炎などに見舞われ、一時ロータリー例会出席もおぼつかなく健康に自信をなくしました。

家内に言わせると「あんたは病気の巣窟」と言われますが、70歳代ははじめまでの大病なしを考えると、これこそ齢には勝てないと思います。皆様も健康には是非お気遣いされますよう。

今の生活は、月曜日から木曜日まで毎日出勤し仕事をこなしています。体力維持のため週3回のプール通い・スイミング＋徒手体操を16年続けています。

老後の生活は、20年ほど前に仕事の都合で東京に持った古マンションを利用して時々都会生活をも楽しみながら2拠点生活を楽しんでいます。友達巡りや、子供達や孫との暮らし、レストラン巡り、近郊の電車の旅などです。

今一番気になるのは【断捨離】です。何とかかなと思っていた片付けも80歳を超えると体力に問題があり、家の中や庭木の手入れなど難儀しています。頑張りますので会員皆様のエールをよろしくお願い致します。

鈴木会長からはロータリークラブに対しての提言→苦言をとられていましたが、この年齢に達すると会員皆様の活動活躍を見守りたいと思う今日この頃です。



大出 隆秀会員

こんにちは。昨日、多くの会員さんが鍛冶会員の告別式に出席されたことと思います。今年に入り、佐藤龍史会員と2名のクラブ会員がご逝去され、改めて、会員の高齢化を感じるようになりました。

私も、クラブ会員の平均年齢を少し超えました。入会が1999年芳賀会長年度ですから、25年以上のかなり長い年月このクラブにお世話になっていることになります。

今日は、何か会計・税務に関するテーマでお話ししようと思いましたが、以前、鍛冶先生がお話しされていて、それ以上のお話もできませんし、欠席がちな私のことをあまり知らない新会員さんもうらっしゃることと思いますので、クラブ在籍2回目の自己紹介とロータリー活動の思い出と近況をお話させていただきます。

まず、入会のきっかけについて、時々、新会員の方に聞かれるのですが、もちろん、先輩ロータリアンの推薦です。私の推薦人は、同業の会計士の斎藤先生という方で、クラブの多田初代会長の次年度に会長をされた方です。

当時、斎藤先生と、亡くなられましたが元会員の今井明先生と、福島県の行政執行状況の監査、簡単に言うと、税金が無駄遣いされていないかどうか、外部専門家の目でチェックするという仕事を一緒にさせていただきました。ある日、斎藤先生から、昼食を取りながら打合せがあるから、と言われて、会場に連れてこられたのが、ロータリー入会のスタートになります。

今でこそ、当たり前前に歌うロータリーソングですが、初めて例会に出席したときは、何か新興宗教の会合かと少し不安になったことを思い出します。ですから、高尚な奉仕の理想に賛同して入会したわけでもなく、しばらくは、仕事の打合せ場所という意味ぐらいで参加した様なものです。斎藤先生は、その後、業界の公務多忙のためか、私を残し退会されてしまいました。

入会から、坂本会長年度で幹事を務めさせていただいた後、2018-19年度の会長を勤めさせていただきました。幹事職は、会長の補佐役ですから、職業的に裏方の役割が多い会計人にとっては、何とかなるのですが、会長職となるとそういうわけにもいかず、大いに戸惑いを感じました。ただ、当クラブの慣例として、幹事が終わって何年後に会長を務めるという暗黙の了解事項があるらしく、不相応の会長職を引き受けることになりました。

会長年度こそ、「伝えよう福島の元氣」ということで、テーマを設定してクラブ会長を勤めましたが、この年度は、今は退会された当時の佐藤一夫幹事の豊富な人脈を生かして、

福島を元気にする人シリーズとして、多彩なゲストをご招待して、スピーチをお願いすることで、いろいろな分野の方の職業奉仕を学びました。

スポーツ関連では、

①福島ユナイテッドFC代表 鈴木様

②福島ファイヤーボンズ代表 宮田様

酒の文化関係では

③酒蔵金水晶社長 斎藤様

④福大食農学類教授 小山先生

のスピーチをいただきました。

また、職場訪問例会として、

①ふくしまスカイパーク(大笹生の農道空港)

②東京電力福島第1原子力発電所

を訪問しました。バスの中からでしたが水素爆発を起こした原子炉建屋に50メートル近くまで接近し、少量の被爆を体験したことは、得難い経験でした。

また、友好クラブの長浜東ロータリークラブとは、初めての共同事業を実施しました。これは、お互いの親睦と友情を深めるため、定期的にクラブ訪問を実施するだけではなくて、そろそろ共同で奉仕事業を実践する時期ではないか？という先方の会長さんの申し出によるものでした。竜巻被害により甚大な被害を受けた滋賀県米原市にあるキャンセの森の復旧事業に対して、両クラブから共同して滋賀県知事に寄付金を贈呈しました。

この贈呈式は、びわ湖放送という地方テレビ局にも取り上げられ、テレビ局の女性アナウンサーの取材を受け、初めてのテレビ出演に大いに困惑しましたが、今となっては、良い思い出になっています。

こんな私でも、ロータリーメンバーの友情と支えがあれば、会長職も何とか楽しく過ごすことができました。当クラブには、幹事経験後、慣例的に5年程度で会長職が回ってきます。これから会長になられる方は、仲間を信じて、快く会長職受け、会長年度こそロータリーライフを楽しんでいただきたいと思います。



2018年9月5日

ふくしまスカイパーク移動例会

幹事報告

菅野 幸一幹事



- 1) 本日18:00～大番本店にて10月度定例理事会を開催いたします。送迎バスは17:30西口バスプールより出発いたします。ご利用の方は遅れずにお集まりください。
- 2) 11月29日開催の、地区主催「新会員セミナー」の登録締め切りは10月31日までとなっております。対象の方はぜひご登録くださいますようお願いいたします。
- 3) 12月6日開催の「金田昇ガバナーエレクト国際協議会壮行会」は、11月7日が登録締め切りとなっております。ご出席の方は忘れずにご登録をお願いいたします。
- 4) 12月4日開催の、福島21RC創立25周年記念「福島県立医科大学 竹之下誠一理事長/学長 特別講演会」は、11月10日が締め切りです。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。
- 5) 次週11月5日(水)の例会は、3日が祝日のため休会です。次回の例会は11月12日(水)福島愛育園での移動例会です。ガバナー補佐においでいただき、地区補助金事業の贈呈式を行いますので、多くのご出席をお願いいたします。

ニコニコBOX委員会報告

川瀬 哲雄委員長

■鈴木 努会長

大橋パストガバナーメーキャップありがとうございます

☆大橋 廣治パストガバナー

浅野 紘太会員	斎藤 高紀会員	鈴木 努会長
安藤 正道会員	齋藤 康隆会員	丹野 良一会員
石橋 真一会員	坂本 和司会員	芳賀 裕PG
植木 博隆会員	佐々木 臣樹会員	山田 稔会員
梅津 寿光会員	佐藤 和子会員	渡部九二五郎会員
大出 隆秀会員	佐藤 信雄会員	渡邊 英世会員
川瀬 哲雄会員	穴戸 宏行会員	
菅野 幸一幹事	菅谷 敏会員	



目標 150万円

本日の投入額 23件 33,000円

累計 412,369円

国際ロータリー第2530地区 地区大会報告

佐藤 信雄直前会長

日時：2025年10月25日(土)～26日(日)



10月25日・26日に浪江RCがホストクラブとなり地区大会が、泉田征慶ガバナー下で開催されました。

25日は原町のホテル丸屋グランデにて会長会・本会議・RI会長代理高野孫左エ門様の歓迎晩餐会が行われました。

記念講演は元日本航空CAで、ヒューマンネットワークサービス(株)社長で東京中央新RC23-24年度会長の明山美穂様のインド・パキスタンにおけるポリオワクチン投与活動についての講演でした。

26日は浪江町地域スポーツセンターで地区大会本会議が行われました。

表彰関係で当クラブは、「会員一人当たりの年次基金寄付」第

2位、「年次基金・恒久基金寄付」第6位、「ロータリー財団寄付」第7位でした。

記念講演は、建築家で東京大学特別教授・名誉教授の隈研吾氏による「環境に優しい循環型建築」についての講演でした。

この大会において会場入り口で、福島中央RACによるバザーが行われ、収益金の一部をポリオ募金に贈呈いたしました。



国際交流フェスティバル 「ザ・まつりin飯坂」

ヴォロン クエンさん 佐藤 信雄カウンセラー
日時：2025年10月4日(土)

10月4日に飯坂ロータリークラブ主催の国際交流フェス「ザ・まつりin飯坂」に米山奨学生のヴォロン クエン君と参加して来ました。飯坂八幡神社前での集合写真の後、「国際交流みこし」をかつぎ飯坂町内を練り歩き、夜には「けんか祭り」で有名な神輿同士のぶつかり合いを間近で見学し、雨の中でのお祭りでしたが、クエン君も興奮気味で大いに楽しんでいました。

